



平成三十年度スタート



壽光会だより

〒699-0811 出雲市湖陵町 差海 318-1 tel 0853-43-8955 fax 0853-43-0995



特別養護老人ホーム湖水苑 施設長 吉田靖一

ヴィラ湖水苑 施設長 大國裕子

この四月より特別養護老人ホーム湖水苑の施設長に就任いたしました吉田靖一です。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。さて、平成三十年度は特別養護老人ホーム湖水苑が本格的に入居者数八十名のユニット型特別養護老人ホームとして動き出す年度となります。開設十七年目にして新しいタイプの特別養護老人ホームとなりましたが、ユニットケアを導入し実践することで今まで以上に同居者一人ひとりの顔を見ながら支援を行う「個別ケア」を深めていくことができ、開設当初より掲げているケア理念である『わたしたちがご利用者とご家族のこれまでを大切に今を支え、そしてこれからも共に歩むために』を実現できるものと思っております。新たな体制での新年度スタートとなりますが、今まで同様に職員一同同居者の「穏やかな生活」のため努力してまいります。今後とも、ご家族の皆様及び地域の皆様方にはご協力の程、心よりお願い申し上げます。

平成二十四年に開設したヴィラ湖水苑も七年目となりました。お陰様で満床となり、日々忙しく過ごしております。これも一重に皆様にご理解・ご協力をいただいているおかげと感謝申し上げます。ありがとうございます。現在四床、神西湖側にお部屋を作り変えております。眺めも良く居心地の良い空間です。全国的にもサービス付き高齢者向け住宅は増えており、その必要性や価値を問われる時代となってきました。そのような中で、ご利用者様が元気で楽しく過ごしていただくことを目標に職員一同、意見を出しあったり工夫しています。時には悩むこともありますが、いろいろな表情を見せてくれる神西湖の景色に元気をもらいながら頑張っています。地域に貢献できる施設を目指してまいりますので、今後ともご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

たいしや保育園 園長 松本俊憲
大社町内の保・幼・小・中学校では、①メディア(ゲーム・PCなど)の使用一日二時間以内・夜九時にはスイッチオフ、②「早寝・早起き・朝ご飯」の実践、③あいさつ運動、④読書活動の推進を進めています。それを受けて、たいしや保育園では、外遊びを中心とした体づくりに力を入れています。天気の良い日には、できるだけ出雲大社やうらら館、小土地の浜、小学校や園の運動場に出かけ、たっぷり体を動かしています。しっかりと遊んだ子はよく食べ、よく寝て、朝早く起き、朝ご飯もきちんと食べます。元気な体の子どもを育てることがまず第一です。次に大切なのが、感性を豊かにすることです。年長のぞう組さんが、こんな俳句を作りました。「おつきさま きょうはばななに いているね」「むしさんが おいもとんねる ほっている」子どもの見方、感じ方って素晴らしいですね。決して大人では作れません。この他に、ダンスや一日参り、本物の人形劇や神楽見学、子ども吉兆行事を通して、感性豊かで伝統文化を大切にする子どもを育てていきます。どうぞ、温かく見守ってください。

新入職員紹介



嘉藤美紅
たいしや保育園
保育士



後長沙絵
本部総務課
事務員



高瀬雅之
特別養護老人ホーム
介護員



郷木美恵子
特別養護老人ホーム
介護員



柳楽滉紀
特別養護老人ホーム
介護員



湖水苑施設長
吉田靖一

BLS (心肺蘇生法) 研修会



3月22日に、島根大学医学部付属病院クリニカルスキルアップセンターから2名の講師の方に来ていただき、BLS (Basic Life Support: 心肺蘇生法) の研修会を行いました。3年前に介護職員に向けた研修があり、それに参加したのがご縁で、昨年の11月に、島根大学医学部と学術交流協定を締結したタイ王国のプリンスオブソンクラ大学の視察受け入れをし、その御礼にと、今回の研修を計画する運びとなりました。心肺蘇生法、AEDの使い方の実践の他に、救急車を呼ぶ時に必要な情報や救急車が到着するまでに行うことや連絡する所の確認など、スムーズな流れでいかに正確な胸骨圧迫を繰り返すことができるかなどを学ぶことができました。

社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」設置

このたび、特別養護老人ホーム湖水苑の玄関先のホール(ハマナスホール)にある既存の自動販売機2台の横に、社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」を新たに設置しました。日本財団が運営する「夢の貯金箱」とは、飲料1本につき10円が社会貢献プロジェクトに寄付される自動販売機です。「夢の貯金箱」は、みなさんの「夢」を集めて大きくし、本当に支援を必要としている人たちに届ける貯金箱です。集められた寄付金は、「子どもの貧困対策支援」「難病児支援」「児童養護施設出身者への進学支援」「災害復興支援」「一流アスリートによる社会貢献」などに活用します。



社会福祉法人壽光会 湖水苑本部
TEL0853-43-8955 FAX0853-43-0995

〒699-0811 出雲市湖陵町差海318番地1
ホームページ http://jukokai.jp/



- *特別養護老人ホーム湖水苑 TEL43-8955
- *認知症老人グループホーム湖水苑 TEL43-0032
- *ケアサポート相生 TEL24-7733
- *サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ湖水苑 TEL43-3950

- *デイサービスセンター湖水苑 TEL43-8955
- *居宅介護支援事業所相生 TEL24-7737
- *たいしや保育園 TEL53-2423

新規採用職員研修及びエルダー制度



新規採用職員	エルダー
高瀬 雅之	田中 智大
後長 沙絵	藤原 由里
嘉藤 美紅	伊藤 希

3月22～23日に、新規採用職員研修を実施しました。今年度は、介護・保育・事務と全員が異なる職種での採用となりました。「法人運営理念」「法令遵守」「感染症」「メンタルヘルス」「接遇・マナー」などの講義や法人内の全事業所の見学を行いました。壽光会では、平成28年度よりエルダー制度を取り入れています。エルダー制度とは、新規採用職員に先輩職員（エルダー）が1対1で寄り添い、新規採用職員が仕事や人間関係の悩みを気軽に相談できる、精神的サポートに重点を置いた支援制度です。

特別養護老人ホーム



避難訓練

2月16日に、特別養護老人ホーム湖水苑において、出雲西消防署多伎分署立会いのもと避難訓練を実施しました。今回はA1ユニット内の廊下で、臨時に配置していた石油ファンヒーターが突然燃え上がったという想定で行いました。施設を増築・改修したこともあり、訓練を通して、消火器の設置場所、非常用放送や防火シャッターの操作方法を確認しました。その後、水消火器を使用して、消火器の操作方法の実体験をしました。初期消火の大切さと日頃から職場内にある様々な消火設備を知っておくことの大切さを学びました。

多伎地区民生委員・福祉委員の視察



2月23日に、特別養護老人ホーム湖水苑とヴィラ湖水苑において、多伎地区民生児童委員協議会及び多伎地区社会福祉協議会との合同視察研修があり、民生委員児童委員及び福祉委員25名が訪れました。隣接する地区ということもあり、今後より一層連携・協力をしていきたいと思っております。

神西湖一斉清掃



3月25日に、毎年恒例の神西湖一斉清掃に11名の職員が参加しました。小学校付近は、ゴミがなく綺麗な歩道でしたが、徐々に進んでいくうちに使い捨てカップやレジ袋が捨てられていました。なかには、飲みかけのジュースの缶も捨てられていて、拾った中学生の服が汚れてしまいました。清掃活動に参加することで、湖陵町に愛着がわき、素晴らしい神西湖の自然をいつまでも残したいと思いました。

ケアサポート相生



出雲警察署との防犯訓練



1月10日に、ケアサポート相生において防犯訓練を行いました。1月10日は、「110番の日」ということで、出雲警察署の協力のもとに実施しました。当日は、警察署員の方が不審者役として施設に侵入するという想定で行いました。刃物に向けて騒ぐ様子を見た職員が、ご利用者さんを掃き出し窓のある部屋に避難誘導し、すぐに110番へ通報しました。電話先の通信指令からの指示に従い、不審者を刺激しないように時間を稼ぎ、駆け付けた警察官が不審者を制圧しました。訓練ではありましたが、とても臨場感のあるものとなりました。訓練終了後には、警察署員さんによる寸劇「鍵かけ戦隊かけるんじゃー」を鑑賞し、ご利用者・職員とも防犯意識を高めることができました。

たいしゃ保育園

吉兆行事



2月14日に、吉兆行事を行いました。例年、旧正月に合わせて、馬場同志会の方と一緒に吉兆幡を立てて、出雲大社・神楽殿・出雲教にお参りに行っています。今年は10日に予定していましたが、雪のため中止となったため、子どもたちで園の近くの市場荒神社までお参りに行きました。りりしい番内や、吉兆太鼓を勇ましくたく姿に、沿道からたくさん応援をもらって、子どもたちも誇らしそうでした。

日本海テレビ「読み聞かせ事業」



2月21日に、日本海テレビ未来アクション「読み聞かせ事業」の一環として、アナウンサーの大垣舞さんが絵本の読み聞かせに来てくださいました。大垣舞アナウンサーは、毎週土曜日朝放送の「スパイス!!」で活躍されており、テレビでいつも見ているアナウンサーさんに子どもたちは大興奮でした。お話が始まると一変し、心地よい美しい日本語で語られると、「スイミー」の物語では、まるで一緒に海の中にいるよう……。すぐに、たくさんのお話に引き込まれていました。

修了式



3月24日に、平成29年度修了式を行いました。穏やかな春の日差しの中、保育園生活の中で友だちと一緒に様々な経験をし、心も体もたくましく大きく成長した25名の子どもたちが、晴れやかに巣立っていきました。職員一同、「健やかに、幸せに」成長していけることをこれからも願っています。

しまね障がい者就労応援企業（しまねゆめいくカンパニー）認定

この度、当法人は『しまね障がい者就労応援企業（しまねゆめいくカンパニー）』に島根県より認定されました。しまね障がい者就労応援企業（しまねゆめいくカンパニー）とは、障がい者雇用を積極的に行う、又は障害者就労支援事業所等や重度障害者雇用事業所の商品・サービスを積極的に購入して施設利用者の工賃向上や重度障がい者の雇用に寄与するという形で障がい者の自立支援に貢献している企業を、島根県が認定しています。

